

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

異体同心の精鋭が集う 平成三十年度「職員総会」開催



平成という時代の挿話を飾る、平成30年度の職員総会が7月13日、19時15分からホテル辰巳屋を会場に、ご来賓の皆様と職員の代表の約100名が集い、盛大に開催されました。

本総会は、法人の最重要行事の一つに位置づけられ毎年開催されています。昨年度より、法改正により毎年6月に開催されることとなった「定時評議員会」における平成29年度の事業報告ならびに決算を受けて、前年度の経営状況ならびに事業実績の共有と法人事業の各般にわたる新たな方向性の確認、全スタッフの意識の統一と交流を図る場として行われております。

第一部の総会では、冒頭あいさつに立った加藤理事長より、日頃の職員の皆様への御礼と、多宝会が存在することへの謝意が述べられ、また「これまでもそうであったが、これよりさらに『異体同心』を『愛言



業』に前進してまいりたい。一心同体という言葉もあるが、心も体も同じ状態というのには、全体主義に陥りやすく、人間の個性すら否定される恐れがある。誰人にも『個性』がある。その人らしさを否定せず、逆に個性を輝かせながら、心を一つに団結していくことが『異体同心』である。これは職員のみならず、ご利用者へのサービスにも直結する心構えである。」との訓示がありました。

その後、来賓の紹介に続いて、内山加奈子事務局長より「平成29年度 事業報告」があり、各種の数値データをもとにスライドにて説明がなされ、稼働実績及び損益実績など全体的に経営状況は昨年度の実績に対して上振れしており、さらには職員の処遇改善や設備投資なども大きく進展したとの説明がありました。



齊藤夕子さん 齋藤圭太さん
 安齋治治さん 橋本小春さん
 中野裕考さん



われしました。今年は、10年永年勤続者として、土湯宝生園から施設長の齋藤圭太さん、アリヴァール宝生園から施設長の齊藤夕子さん、介護職員の橋本小春さん、宝寿木村屋から生活相談員の安齋治治さん、まちなか宝生園から介護職員のの中野裕考さんの5名が表彰を受けました。次第に添って進められた総会は滞りなく終了し、引き続き第二部「交流懇親会」となりました。開会の挨拶に続き、伊藤達也評議員より乾杯のご発声をお取り頂きました。例年であれば、施設毎にテーブルが決められておりましたが、今年度は初の試みとして、抽選により席が決められました。そのため、法人内全体の交流も進み、歓談の輪が幾重にも広がりました。新入職員の紹介があり、10人の職員が登場し、自己紹介が行われました。最後に、渡邊啓道理事の中締めによって、借しまれつつも閉会となりました。

各種講座・研修を開催

認知症サポーター養成講座
 南東北病院にて医療従事者を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。半澤清江保健師が、国の認知症対策である「新オレンジプラン」の取組の一つである認知症サポーターキャラバンの必要性を伝えました。また、鈴木俊彦主任ケアマネジャーがチューターとして参加したグループワークでは、認知症になっても安心して住み易い地域づくりを、目指すこととなりました。

防災委員会研修
 土湯宝生園に福島市建設部河川課管理係の方々をお招きし「洪水・土砂災害ハザードマップ出前講座」を開催しました。災害が起るメカニズムや土砂災害ハザードマップの見方等を勉強しました。



法人内研修

佐藤由紀施設長が講師となり、法人の各施設において「食事について」研修を行いました。ご利用者に合わせた食事の提供だけではなく、周りの環境や雰囲気作りも大切とのことでした。現場に直接関わる研修でしたので、皆さん真剣な眼差しでした。



救命講習
 まちなか宝生園でご利用者の急変時の迅速な対応ができるよう、福島市消防本部の協力のもと、普通救命講習を行いました。

体験学習
 アリヴァール宝生園で市内の中学生5人が体験学習を行いました。リネン交換をしたりご利用者と風船運動をしたりしました。また中学生の考えてきた企画で紙芝居やパズルを行い、ご利用者も楽しみました。



桜梅桃李
 法務省は、次代を担う中学生が人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深めることを目的に「全国中学生人権作文コンテスト」という施策を実施している。内閣総理大臣賞に輝いた過去の作品に触れる機会があった。内容を凝縮して綴ればこうある。「私(作者)の曾祖父が、ある時を境に体の自由が利かなくなり重度の認知症も発症。わがままに怒鳴り散らす曾祖父。漏便が絶えない曾祖母。母と祖母がその介護にあたるが、筆舌に尽くせぬ壮絶な日々。祖母の心と体は限界を超え泣き崩れる。私は「家族に迷惑をかけていることになせ気付かない」と憤った。ある日、枕もとで曾祖父が語り合っていた。「お前も私も死ななにかんが、なかなか死ねん。」と。またある日、曾祖父の枕の下から出てきた一枚の紙切れには、達筆な字で「安楽死」と。私は衝撃を受けた。曾祖父は、迷惑をかけまいと安楽死を願っていた。怒鳴ってはかりだったが、誰よりも家族の幸せを祈り大切に思ってくれていた。以来、私も介護の手伝いをするようになる。曾祖父母との対話も増え、重度の認知症でも、若い頃の記憶だけは失っていないことに気付く。一番大切なのは、一人の人間として認めてあげること。心の声に耳を傾けることだと思ふ。人は人に支えられている。曾祖父母のお陰で今の私たちがいる。人は誰でも老いるが、誰もが輝いた最後を迎えられたい。そんな社会を築きたい。」と。この純粋な中学生の「体験」と「心」に触れ、皆様はどの様にお感じになられたでしょうか。

多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。貴は奉仕、育は信頼、赤は勇気を表しています。

施設的话题をいち早くお届けする

多宝会ホットライン

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

土湯宝生園

ケアハウスでホテルのランチ

昨年に続き、元ホテルオークラシェフ浜崎日出生様が、ケアハウスにて洋食ランチを振舞って下さいました。海の幸を使ったドリア、三浦野菜のサラダ、トマトスープ、そしてデザートにショコラケーキまで！ホテルの料理を堪能し、ご利用者の笑顔が満載でした。後日、ランチの様子が地元新聞に掲載されました。



バラ園見学

約300品種、約1500本のバラが植栽されているあづま運動公園にある「香りのバラ園」に出掛けました。多彩なバラの色合いや香りを楽しんだ後、園内でおやつのコロッケを食べました。おやつ時間が、一番の笑顔でした。



デイサービスの調理レク

餃子の皮を使ったキッシュを作りました。細かく切った材料をホットプレートで炒め味を調え卵液を加え、餃子の皮を敷いたアルミカップに入れてオープンで焼きました。みなさん手際良くあっという間に、出来上がりました。その後、お茶を飲みながらキッシュを頂きました。「簡単で美味しい」「初めて食べた」などの声が聞こえました。



夏スタミナバイキング

ケアハウスにて「夏のスタミナバイキング」を行いました。スタミナたっぷりの鰻のおにぎり、焼鳥、ピザ、宮崎の郷土料理冷汁、かき氷など沢山の料理が並びました。さらに、スイカの器で出来たトロピカルフルーツジュースが南国ムードを漂わせていました。皆さん、好きな物を好きなだけ頂き、満足でした。これで暑い夏を乗り切れるでしょう。



アリヴァーレ・ほのぼの宝生園

音楽療法

皆で歌を唄ったり、風船パレーを行いました。「瀬戸の花嫁」を歌ったときに、「自分がお嫁に行く時はどんな感じだったですか」という質問には皆さん照れくさそうに話をしたりと大盛り上がりでした。



夏のスイーツフェス

施設内に風船などを飾り見た目にも涼しくし、ソフトクリーム、フルーツゼリー、杏仁豆腐、スイカのデザートなど冷たくて甘いスイーツを食べました。その後、水ヨーヨー釣りやカラーボールすくいも行いました。これで暑い夏を乗り切れそうです。



笑いヨガ

笑いヨガを組み合わせた笑いヨガを講師を招いて行いました。笑いもヨガも健康に良いため、いいとこ取りの体操でした。



流しそうめん

涼を求め、女性はムーニーを着てお花を着けおめかしし、男性は法被や甚平をかぶり、流しそうめんを行いました。本物の竹を使い、カラフルなそうめんを食べました。そうめんを頂いた後は、ポウリングやくじ引きを行いました。



まちなか宝生園

みんなの歌声

ボランティアの「うすゆき草」の方がいらっしゃいました。毎年定期的に来て下さり、今回はプロピアニストの方に演奏していただきました。プロの演奏者の手の動きと音色に魅了され、生演奏と共に素敵な時間を過ごすことができました。



まちなか宝生園夏祭り

今年も盛大に開催しました。出来たて熱々のたこ焼きにクレープ、手作り梅シロップのかき氷など、皆さんたくさん食べました。また、金魚釣りや抽選会もあり、最後は盆踊りを行い、大変盛り上がりしました。第一小学校のボランティアや実習生も一緒に楽しみました。



福島七夕祭り

今年もデイサービスから七夕飾りを2台出展しました。今年も入賞を目指し皆で力を入れて作りましたが、残念ながら雨のためコンテストは中止になりました。パセオ通りに飾られた中で最高の出来栄でした。



フルート演奏

ボランティアの若月美香様が来園され、数々の曲をフルートで演奏して頂きました。綺麗な音色がこころホール中に響き渡り、皆さん聞き入っていた様子でした。



宝寿木村屋

スコープ三味線

ご利用者からの紹介で「ひまわりの会 そよ風 三味線」の皆様にご披露頂きました。演奏だけでなく踊りもあり、楽しい一時を過ごしました。



屋上農園

屋上に野菜畑を作りました。毎日水撒きをして日報もつけています。出来た野菜は味噌汁の具などにして美味しく頂きました。自分で作った野菜は格別です。



盆踊り

これから土湯の盆踊りに出掛ける、という時に雨が降りました。傘をさして見に行った方や、リビングから櫓を見る方、それぞれの形で楽しみました。



ちまき作り

ちまき作りをしました。皆様慣れた手つきで作るのが早く驚きでした。あっという間にたくさんのちまきが出来、翌日のお昼に頂きました。当たり前ですが、作る時より、食べてる時の笑顔が良かったです。



こころ 心美のささやき

今年「豪雨」と猛暑が続いて日本中が大変な思いをした夏でした。秋の気配です。春からのダイエツが今でも続いている「食欲の秋」に負けませんわよ！

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	生きがい支援湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	多宝会本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	http://www.tahokai.jp